

第68回大分県高等学校総合体育大会

## 19. レスリング競技実施要項

- 1 期 日 令和2年 7月 19日 (日) 8 : 00 ~ 30 会場消毒・検温  
8 : 30 ~ メディカル・計 量  
9 : 00 ~ 監督会議  
10 : 00 ~ 競技注意  
10 : 30 ~ 試合開始
- 2 会 場 日本文理大学附属高等学校 体育館
- 3 競技種目 男女個人対抗戦ともにフリースタイル
- 4 競技規則 世界レスリング連盟ルールとし、一部特別ルールを採用する。
- 5 競技方法 (1) 階級  
ア.男子個人対抗戦  
51kg級・55kg級・60kg級・65kg級・71kg級・80kg級・92kg級・125kg級の8階級  
ただし、51kg級の下限は45kg、125kg級の下限92kgとする。  
イ.女子個人対抗戦  
47kg級・50kg級・53kg級・57kg級・62kg級・68kg級・74kg級の7階級  
ただし、47kg級の下限体重は43kg、74kg級の下限体重68kgとする。  
(2) 試合方法  
リーグ戦方式とする。  
なお、試合時間は1ピリオド「2分間」の2ピリオド制で行う。
- 6 参加資格 「第68回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 7 参加制限 個人対抗戦 各学校各階級2名以内とする。
- 8 参加申込 (1) 期限 令和2年 7月 3日 (金) 必着  
(2) 方法 申込用紙はホームページから入手し、下記により期限内に行う。  
ア. 様式により作成し、2部を印刷・捺印して、1部高体連事務局へ、1部を下記に郵送する。  
イ. 承認を得た申込電子データはメールで送信する。(ファイル名: 競技名/校名/監督名)  
※大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を申込書に同封し、提出すること。  
(3) 宛先 〒 879-2421 津久見市大字津久見3485-1 津久見高等学校内  
専門委員長 太田 充洋 あて  
メールアドレス [oota-mitsuhiro@oen.ed.jp](mailto:oota-mitsuhiro@oen.ed.jp) (データは7月3日正午必着)
- 9 諸 会 議 第1回専門委員会 令和2年 7月 10日 (金) 13時~ 津久見高等学校
- 10 連絡事項 (1) 計量は上記日程で行い、自己体重の1階級上まで出場できるものとする。  
(2) 出場者は申込を完了し、参加同意書の提出、なおかつ計量に合格した者に限る。  
(3) 変更については、下記のとおりとする。  
申込後の選手及び階級の変更は認めない。なお各選手は、1階級のみ申込とする。  
(4) 組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会で抽選基準に基づいて行う。  
(5) メディカル・計量時に健康チェック表を提出すること。  
(6) 選手は選手手帳または学生証(写真添付)、日本レスリング協会会員証を持参し、計量時に提示すること。
- 11 感染症等の対策 (1) 感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。  
(2) 競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

第68回大分県高等学校総合体育大会

レスリング競技 健康管理チェック表

学校名

氏名

体温	呼吸器症状			その他							2週間の外出先等	
	咳嗽 (咳)	鼻汁 ・ 鼻閉	咽頭痛	嘔気 ・ 嘔吐	頭痛	倦怠感	関節 筋肉痛	下痢	味覚 障害	嗅覚 障害		その他
°C	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	ある ・ なし	

メディカル・計量前に記入して提出すること。

## 感染症等の対策に関する留意事項について

レスリング競技専門部

## 1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 気温が高い中で大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4) 会場内に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを装着すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた時は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 競技に使用する共用の用具（ボール等）については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (8) 競技会場内では、競技専門部（係員）の指示や誘導に従うこと。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県高体連事務局に対して速やかに報告すること。

## 2 レスリング競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

## 【大会本部】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、こまめな換気を行う。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスク装着を義務とする。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは禁止とする。
- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つ配置とする。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・観客は、保護者のみとし体育館後方に座席を設営する。
- ・健康状態・氏名と連絡先を受付で記入させる。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

## 【選手・役員・保護者等】

### 《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。

### 《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。

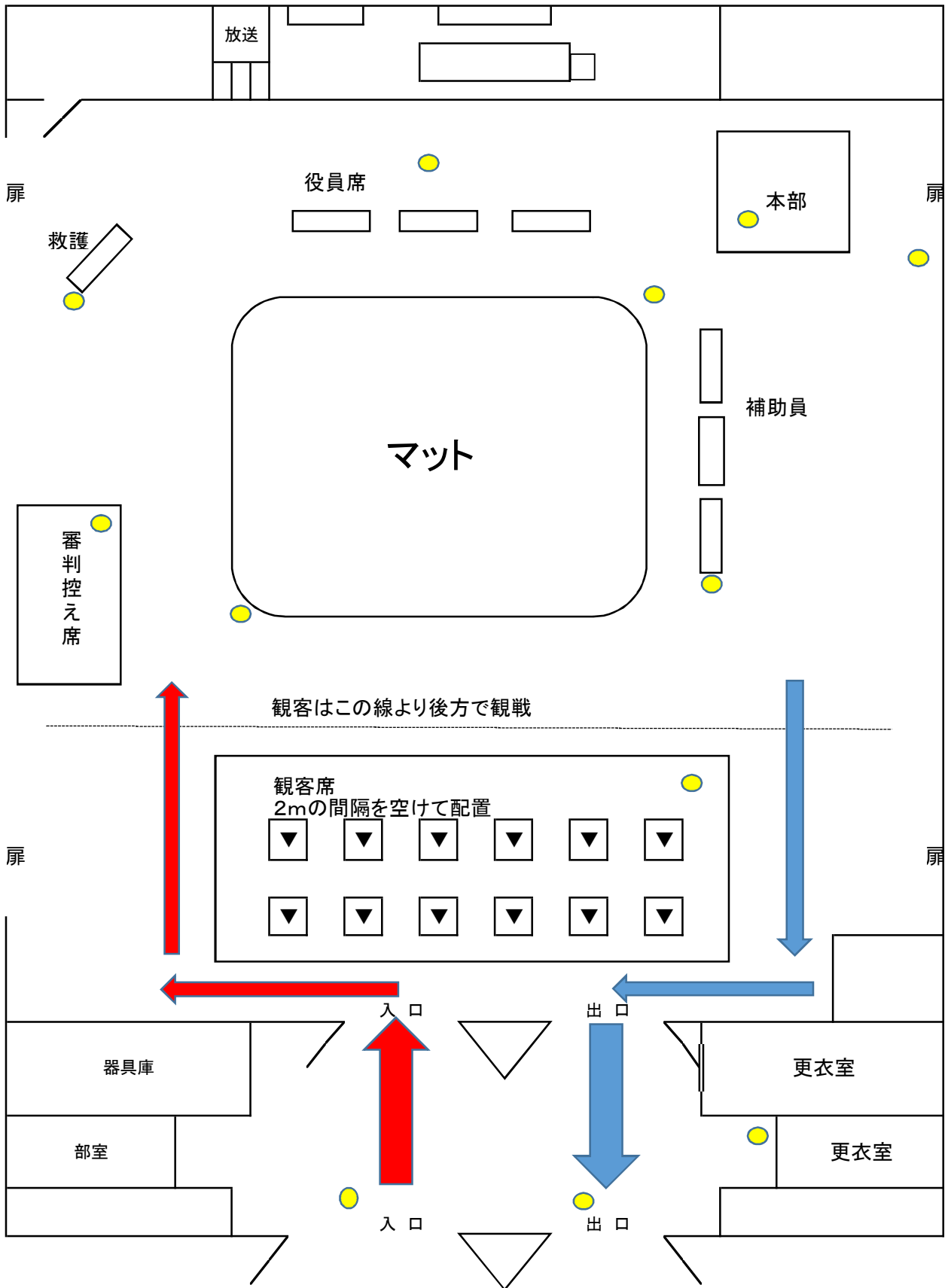
### 《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているので注意すること。
- ・観客は、保護者のみとし体育館後方で観戦すること。また、健康状態・氏名と連絡先を受付で記入すること。

## 3 (公財) 日本レスリング協会 COVID-19 対策 ガイドラインより

- ・直近2週間前に37.0℃以上の発熱や感冒様症状（発熱、せき、頭痛、倦怠感、味覚や嗅覚異常）がないこと。
- ・うがい、石鹸を用いた手洗いと洗顔、手指消毒をすること。
- ・体調の管理と行動の記録、体温計測、体調、訪問場所を記録する。直近2週間の体調・体温・行動記録はいつでも提示できるように準備すること。
- ・シューズは上履きと外履きの区別を厳重に行うこと。また、マットに上がる際にはレスリングシューズのソール面を消毒すること。
- ・マットの消毒は、ウォーミングアップや試合開始前と終了後など1時間に1度行うこと。
- ・マット1面あたり最大参加人数は選手10名、コーチ2名までとすること。人数制限により、十分なウォーミングアップが出来ない場合は、時間増加や競技開始時間を変更するなど対応する。

# レスリング競技 会場レイアウト



● … 消毒液配置